

事務事業シート(事業仕分け)

担当部・課	産業観光部 商工課
シート作成担当者 係・氏名	商工係
連絡先電話番号	

整理番号	26	3	17
------	----	---	----

事業名	勤労者教育資金利子補給金	事業開始年度	事業終了(予定)年度
総合計画の位置づけ	大綱 3. 産業がいきいきと活発なまち 施策の柱 3-2 工業の振興 重点的取組 ■ 重点的取組以外 取組名		—

根拠法令等	区分	■ 要綱・要領
	名称	島田市勤労者教育資金利子補給金交付要綱
	事業区分	■ その他

目的	1 対象(何を、誰を、どの地域を)	対象	対象の範囲	単位
	■ 個人		① 労働金庫より教育ローンを借入れた市内在住の勤労者	人
	静岡県労働金庫にて教育ローンを借入れ、融資対象条件を満たした市内在住の勤労者		②	
	2 意図(どのような状態にしたいか)	事業の成果	成果を表す指標	単位
勤労者又はその子弟の進学に伴う経済的負担の軽減を図る。	① 借入金額		千円	
	②			
内容	3 手段(目的を実現するために、市が具体的に行っていること)	事業の実績	実績を表す指標	単位
	限度額200万円に係る利子の額の2分の1(利率年2.1%で借入れたものとして算出した当該年度の利子額を限度)を利子補給額として5年間交付する。		① 利子補給額	千円
			②	
	勤労者又はその子弟の進学に伴う経済的負担の軽減を図るために大学等に入学する際、又は在学中に必要な費用を静岡県労働金庫から借り受けた際に利子補給金を交付する。 【融資対象者】 ・島田市に引き続き1年以上市内に居住しているもの ・前年の年間所得金額が1,000万円以下であること ・市税を完納していること ・勤労者又はその子弟が、入学の資格を得ている大学に入学する、又は大学等に在学していること 【利子補給対象限度額】 入学者又は在学者1人につき200万円 【利子補給限度額】 貸付金に係る利子の額の1/2とし、利率2.1%で借入れたものとして算出した額を限度とする 【利子補給期間】 5年間(据え置き期間は利子補給は行わない)	③		

背景(必要性)	事業の開始時期における社会的背景や事業の必要性	子弟の大学等の進学は、勤労者世帯にとって家計の大きな負担となるものである。これに対して行政が勤労者福祉の一環として労働金庫と協力しあって、利子補給制度を設けた。
	上記の状況はどのように変化しているか	安倍政権は経済政策を打ち出し、景気回復に力を入れているが、中小企業やそこで働く勤労者にはその効果を実感できていない状況である。

効果・成果の説明	この利子補給制度を利用して教育資金を借入れ、大学等に進学している方が毎年一定数いる。
----------	--

過去の 見直し内容	なし
廃止した場合の 影響	勤労者の財政的な負担が増える。
民間委託・民営化の 受け皿	■ なし → 市が直営で実施しなければならない理由 勤労者の子弟の進学を支援することで福祉増進を図ることを目的としているため、市の施策として必要である。
国・県・他市町、民間等での類似事業	・焼津市 勤労者教育資金貸付制度 ・藤枝市 教育ローン制度(協調融資)
市における 類似事業	なし
課題・今後の 方向性等	勤労者の生活水準の変化、金融機関の教育ローンの充実が図られており、有利な制度として目立たなくなっているが、毎年一定の利用者がいることから教育ローンを借り入れる際の利子補給は必要と考える。

(金額単位:千円)

対象の範囲 実績・成果の指標	基準値 目標値	H23(実績)		H24(実績)		H25(実績)		H26(目標)	
		実績値	達成率等	実績値	達成率等	実績値	達成率等	目標値	達成率等
① 労働金庫より教育ローンを 借入れた市内在住の勤労 ② ③	80	77		77		76		80	
① 利子補給額(千円) ② ③	900	933	104%	983	109%	859	95%	900	100%
① 借入金額(千円) ② ③	22,000	28,380	129%	26,520	121%	20,160	92%	22,000	100%

(単位:円)

事業費の内訳 平成25年度 決算見込み	内 容	金 額	積 算 等
		勤労者教育資金利子補給金	858,628
合計		858,628	

(金額の単位:千円、但し市民一人当たり負担額の単位は円)

				H23(決算)			H24(決算)			H25(決算見込)			H26(予算)			
事業費	直接 事業費	財源 内訳	国庫支出金													
			県支出金													
			地方債													
			その他													
			一般財源		933		983		859		1,100					
	財源計(a)			933		983		859		1,100						
	人件費	職員			正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時	正規	嘱託	臨時
		人工(b)			0.05			0.05			0.05			0.05		
		1人当たり人件費(c)			7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741	7,246	1,680	1,741
		人件費(d=b×c)					362			362			362			362
		事業費合計(e=a+d)					1,295			1,345			1,221			1,462
		市民一人当たり負担額(f=(e)/10万人)					13			13			12			15